





## 「ひと工夫」で成長した教職員 ～150周年の取組を通して～

校長 苔米地 高志

「皆（地域の方、子供、保護者）の思い出にしたい。」「式典の日だけでなく、1年間を通して祝いたい。」「子供が主体になる取組にしたい。」「学校の歴史や谷保の歴史を振り返りたい。」教職員から出されたこのようなコンセプトの下、

- 記念誌「つなぐ」 … 一小的の歴史を凝縮した記録に！  
今の一小的の姿を後世に！
- 開校記念集会 … 歴史にふれる子供のお祝い 校歌の大合唱  
記念キャラクター「うめにゃん」誕生
- 150周年記念運動会 … 表現運動に表れた150年への想い  
記念の教員リレーを披露
- 150周年記念学習発表会 … 150周年を子供が主体的に追究、発表  
「ふるさと谷保プロジェクト」を披露
- 150周年記念式典 … 一小的を支えてくださっている皆さんと共に
- Tunaフェス150 … 一小的に関わる全ての方と共に祝う会  
「人をつなぐ」「思い出をつなぐ」を実現

このような取組を行いました。

開校記念集会や運動会のような恒例の行事には、教員の「ひと工夫」をいくつも加えました。そのことで、「記念すべき1年」という子供の気持ちを引き出していました。また、保護者や地域の方の気持ちもつながり、いろいろな場面で支えてくださったり応援をしてくださったり贈ってくださったりしました。記念誌、学習発表会や式典、そして「Tunaフェス150」は、今の教職員が経験をしたことのないものばかりで不安がいっぱいでした。しかし、いろいろな角度からの「ひと工夫」を積み重ねたことで、子供だけでなく皆の笑顔を引き出す取組になりました。その笑顔を見た教職員も満面の笑みを浮かべていました。

「ひと工夫」の良さや大切さに気付いた一小的の教職員は、柔軟な思考力と場に応じた対応力を伸長させています。子供や保護者、そして地域のレガシーを築いた150周年の取組をやり遂げた教職員も、「自信」というレガシーを築いたことと思います。

「この年に在職していたことを教職員も思い出にしたい。」という、もう一つのコンセプトも形にした教職員の「チーム」としての高まりを、私も誇りに感じています。

次年度以降も、皆の笑顔がこぼれる取組を「チーム」で創造していきます。

## 特別支援教室「はばたき」

はばたき教員

特別支援教室「はばたき」では、自分の考えや思ったことを言葉でなかなか伝えられない、友達とのコミュニケーションがうまくいかない、興味や気になったものに気をとられてしまう、怒りや不安のコントロールが苦手である、などといった児童を対象として指導を行っています。一般的に、これらのことは成長に伴って徐々に克服していくことが多いです。しかし、その成長の過程で今はできないことを「自分は何をしてもダメなんだ」と思ってしまい、自信や意欲までもなくしてしまう児童もいます。

今年度「はばたき」の小集団指導では、活動のめあてと共に児童一人一人のめあてを提示し、授業の終わりに振り返りを行ってきました。毎時間積み重ねることで、自分の頑張ることが明確になり、3学期の授業では、成長した姿を表わす児童が多くなりました。「自分の気持ちや考えを伝えられた」「時間を守って切り替えられた」など自分でできるようになったことを実感したり、教員や友達に認めてもらったりすることで、自信や意欲をもてるようになってきたのだと思います。そして、めあてを意識することでできるようになったことを「はばたき」でだけでなく、自分の教室でも意識して生活・学習しています。「できない」を「できた」に、また、「不安」を「自信」に変え、学級で楽しく過ごせるようになっていってほしいと考えています。

「はばたき」での『学習内容や方法に興味がある』『子供について相談してみたい』などがありましたら、学級担任を通してご連絡ください。

## 各学年の教育活動の紹介

### 杉の子学級

1月～2月にかけて3回、「芸術家と子どもたち」という活動を行いました。ダンサーのたちちゃんと、りえちゃん、ドラムのタクさんが来校し、体育館で裸足になって表現活動を行いました。たちちゃんや友達の動きをまねしたり、友達と目線を合わせながらダンスをしたりすることができました。

2年前にも体験しており、当時のことを思い出して懐かしむ児童もいました。最後は給食を一緒に食べ、談話をしながら楽しい時間を過ごすことができました。

### 1年生

3月1日（金）の6年生を送る会に向けて、お世話になった6年生へお礼の言葉や手話を付けた歌の練習もしています。歌は、「ありがとうの花」です。

6年生への贈り物は、「しおり」です。入学式、給食、掃除の手伝い、にこにこ班の遊びなど、いろいろとお世話になったお礼の気持ちを「しおり」に書きました。

### 2年生

2年生では、算数でかけ算の学習をしました。クラスの友達や家の人に聞いてもらい、1～9の段の九九を覚えてきました。担任のテストに合格すると、最後に校長先生のテストがあります。子供たちはドキドキしながら、校長室で九九検定を受けています。合格して跳びはねながら認定証を持ってくる様子から、その達成感が伝わってきます。3月までに全員合格を目指して頑張ります。

### 3年生

1年間を通して、矢川と城山の自然を観察してきました。春、夏、冬、どんな動植物がどこにいるのか予想を立てて出かけました。調べた動植物の名前や生態を調べることで、多くのことを学びました。調べたことをスライドにまとめ、学習発表会で発表することができました。ゲストティーチャーの話も一生懸命に聞きながら、自身の学びを深めていました。

### 4年生

3学期の総合的な学習の時間「共に生きる」で、視覚障害について学びました。アイマスク体験、点字体験、ピアノコンサートを通して視覚障害のある方の変さを感じることができました。疑問に思ったことやもっと知りたいことを調べることで、視覚障害のある方の困り感をどうしたら解消できるかを考えるまでに至りました。世の中には様々な人が共生していることを知る良い学びになったと思います。

### 5年生

1年間、高学年として6年生と一緒に学校を支えてきました。運動会では、6年生からソーラン節を教わりながら力強く踊ることができました。学習発表会では、米づくりについて自分たちで創意工夫をしながら発表しました。1月に行われた創立150周年記念式典では、一小の在校生代表として国歌・校歌を堂々と歌っていました。式典に来られた方々に、自主的にお辞儀をしながら挨拶する姿が、5年生らしく微笑ましく感じました。

来年度に向けて、6年生が国立第一小学校の『顔』として取り組んできた校旗掲揚、朝会での挨拶など、これまで築かれてきた伝統を教わりながら引き継いでいます。

5年生は卒業式には参加しませんが、これまで一小を引っ張ってきてくれた6年生のために合奏を録音した入退場の曲を贈ることにしました。6年生への憧れと感謝の想いを詰め込んで、卒業式に届けます。

### 6年生

6年生は、『創立150周年の最高学年』として、一小の顔となって活動してきました。「下級生のお手本になりたい」「頼られる6年生になりたい」とやる気に満ち溢れて迎えた春。1年生のお手伝い、校旗の掲揚、あいさつなど、いろいろな場面で一小のために全力で取り組んでいました。

運動会では、「魅せつけろソーラン武士」をスローガンに、5年生と一緒に挑戦しました。上級生らしく5年生にコツを教えたり、声をかけたりして、一体感を意識して演技をしました。日光移動教室では「日光、最高、さあいこう！」をスローガンとして臨みました。奥日光の自然、日光彫の体験、歴史と美が漂う日光東照宮。何より、友と過ごした3日間は最高の思い出となりました。学習発表会では、谷保地域の「農業」「自然」「谷保天満宮」「暮らし」など、一小とゆかりの深い谷保について、自分で設定した課題を追究しました。1月の創立150周年記念式典では、一小の在校生として誇らしげに参加する姿が頼もしかったです。

長いと思っていた小学校の6年間も、残り僅かとなりました。入学してから今日まで、この子どもたちを支え、見守り、導いてくださった方々への感謝の気持ちを最後まで行動で示し、小学校生活を締めくくることができるよう、担任一同、指導していきます。

## ユニセフ募金の結果

皆様から募金していただいた合計金額は、49,533円になりました。  
ご協力いただきまして、ありがとうございました。